

発表申込及び講演要旨作成・投稿要領

第 65 回研究発表会及び現地見学会実行委員会
(公社) 日本地すべり学会 事業計画部

発表は、口頭発表とポスター発表を設けます。いずれも現地会場での発表のみとなります。口頭発表とポスター発表いずれも、発表申込期間終了までに講演要旨の投稿と参加申込が必要となりますので、ご準備をお願いします。

投稿いただいた講演要旨は、Web上から発表会参加者が閲覧、ダウンロードできるようにいたします。投稿いただいた講演要旨の著作権は、公益社団法人日本地すべり学会規則第20条に規定された出版細則第9条に基づき、学会に帰属します。また、特許出願等に関連した研究発表内容の公開日は、大会当日ではなく要旨のWeb公開時点（8月中頃を予定）となりますのでご注意ください。なお、講演要旨は、将来、講演集として一般公開になる場合がありますのであらかじめご承知おきください。

1. 発表方法

- (1) 発表方法は、口頭発表とポスター発表があります。発表者は学会員に限ります。口頭発表、ポスター発表ともに、それぞれ発表者1人につき1件までとします。内容が異なれば、口頭発表、ポスター発表両方を行うことは可能です。なお、会場・運営上の事情等で発表方法の変更をお願いする場合がありますので、予めご承知おきください（提案型セッション発表は口頭発表としてカウントされます）。
 - (2) 口頭発表とポスター発表、いずれも発表申込期間終了までに講演要旨の投稿が必要となります。
 - (3) 口頭発表は現地会場のみとします。発表するセッションの希望を、次の中から第2希望まで選択してください。ただし、申込の状況により、プログラム編成時に希望セッション以外のセッションに変更させていただく場合があります。
 1. 地すべり機構／2. 地すべり調査／3. 地すべり計測／4. 斜面安定・解析／5. 対策・施設維持管理
 6. 防災教育、警戒・避難／7. 事例報告／8. 提案型セッション

*提案型セッションは現在準備中です。決まり次第、学会ホームページ等でご案内いたします。
 - (4) ポスター発表は、従来通り会場にてポスターにより発表する方法で実施します。1時間程度の発表コアタイムを設けます。オンラインでの発表は行いません。
 - (5) 連名発表者（共著者）は、口頭発表とポスター発表いずれも最大7名としてください。できるだけ、発表者を筆頭発表者としてください。7名を超える場合は、プログラム等に表示されない場合があります。
 - (6) 若手賞に応募する場合は、原則として審査対象者を筆頭発表者としてください（表彰者が実際に研究に主体的にかかわっていることを前提とします）
- *発表方法については、学会ホームページに最新情報を掲載しますので、そちらをご確認ください。

2. 申込・投稿方法

研究発表会の発表申込及び講演要旨の投稿は、専用の申込システムにより行います。申込・投稿期間は以下の予定です。締切厳守をお願いいたします。

申込・投稿期間：5月29日（金）正午～6月30日（火）正午

発表申込期間終了までに、講演要旨の投稿が必要となりますので、関係者への掲載許可などは早めに準備をお願いします。

3. 講演要旨原稿の作成方法

- (1) 発表内容は原則として未発表のものとし、先行研究を引用する場合には引用元を明示すると共に、許諾等の手続きを著者の責任において済ませてください。
- (2) 講演要旨原稿は、PDF 形式のみの受付となります。後段に掲載した「作成要領」に従って作成してください。なお原稿は A4 サイズで1 ページまたは2 ページとします。カラー原稿も掲載可能です。なお、若手賞の審査では、講演要旨も審査の対象となります。原稿枚数は1 枚でも構いませんし分量が多ければよいというものではありませんが、研究の新規性・重要性が分かるように詳しく記述したほうが、審査員も評価しやすくなります。
- (3) 講演要旨原稿は、Web 上から発表会参加者が閲覧、ダウンロードできるようにいたします。(Web による閲覧は期間があります)。
- (4) 講演要旨原稿 (PDF ファイル) 作成時には、そのまま印刷して使用できる状態になるよう画像出力の解像度をあらかじめ確認、調整しておいてください。ファイルのサイズは必ず 5MB 以下にして下さい。
- (5) 発表申込時の内容と講演要旨の記載が異なっているケースが多くみられます (タイトル、発表者名等)。原則として講演要旨を正としてプログラムを作成しますのでご承知おきください。

4. <重要> 発表申込にあたっての注意事項

- (1) 発表者は学会員に限ります。発表申込時に会員でない方は、申込の受付はできません。発表予定者は、必ず事前に会員登録を終えてください。学会の入会手続きには1 週間程度の時間がかかりますので、非会員の方で発表を希望する方は、早めの入会手続きをお願いします。
- (2) 著者名の英語表記は、プログラム等で書式を統一したいので、以下の原則に従ってください。
名前 (First name)、苗字 (Family name) の順としてください (例: Hanako AYANOKOJI)。
- (3) 査読は行いませんが、事業計画部で原稿確認を行います。内容・表記に明らかに問題がある場合や、書式を大きく逸脱している場合は修正をお願いする場合がありますので、予めご承知おきください。また、申込時のデータと、講演要旨の表記が異なる場合 (タイトルや著者順番等) は、講演要旨の表記を優先します。

5. 研究発表会講演要旨作成要領

- (1) 原稿用紙は A4 縦置とし、下記の要領にて記入してください。
- (2) 原稿枚数は1 枚または2 枚とします。
- (3) 講演集を作成する際に消去が必要となりますので、フッタにページ番号を入れないでください。

地すべり学会研究発表会講演要旨の見本

Style sample for proceedings of the annual meeting of the Japan Landslide Society

地すべり太郎 (〇〇大) *, 学会花子 (△△大)

Taro JISUBERI (〇〇 Univ.) *, Hanako GAKKAI (△△ Univ.)

キーワード: 地すべり, 大会, 要旨集, マニュアル

Keywords: Landslide, Annual meeting, Proceedings, Manual

1 全般について

- 1) この版下原稿作成方法の見本は第1ページのものである。第2ページは全面を文章・図表とする。
- 2) 原稿はA4縦置き横書きとし、全体で1ページまたは2ページとする。
- 3) 原稿はPCなどで作成し、そのまま印刷ができる状態となるように仕上げる。
- 4) 余白は上下端より25mm, 左右端より20mmを確保し、文字や図表は余白にはみ出さないようにする。はみ出し部がある版下原稿は受理できない。
- 5) ページ当たりの行数は45~50行とする。

2 表題等について

- 6) 第1ページ目の先頭部分に、表題、氏名(所属)、キーワードを、行を変えて記載する。当日の講演者の右肩に「*」印を付ける。
- 7) 表題等の部分は段組無し(1段組)とし、中央揃えとする。
- 8) 文字のサイズは日本語表題が14ポイント、英語表題が12ポイント、それ以外は全て10ポイントとする。なお活字の天地を表すポイントの大きさは、1ポイントを0.3514mmとしてこれにポイント数を掛けた値である。英文の場合は表題のポイントを下げ、文字数や行数を若干増やすことが好ましい。
- 9) 氏名(所属)の下に、4~6語のキーワードを記す。
- 10) 和文の場合、表題、氏名(所属)、キーワードのそれぞれに改行の後に英文を合わせて記載する。
- 11) キーワードの下に約1行分の空白を空ける。

3 本文について

- 12) 和文の場合、本文は横書き2段組とする。片段の1行あたりの文字数は20~25文字とし、文字サイズは全て10ポイントとする。

- 13) 本文が英字の場合には1段組でもよい。
- 14) 大きな図表が必要な場合には2段組の場合でも両段に跨がっても良い。
- 15) 原稿にカラーの写真や図表を貼り付けることも出来る。
- 16) その他, 参考・引用文献, 脚注の書き方は地すべり学会誌の執筆要領に準ずる。

4 投稿方法について

- 17) 作成した原稿は、PDF形式(アドビシステムズ社製 adobe acrobat 形式)に変換した上で、別途指定する送付先に指定する方法で、電子ファイルとして投稿する。
- 18) 電子ファイルはそのまま掲載されるため、投稿前には必ず、紙に出力してそれが適切であることを確認する。
- 19) 電子ファイルの大きさは5MB以下とする。

5 その他

- 19) 口頭発表、ポスター発表のどちらの場合でも同様に当該要領に従って原稿を作成し投稿する。
- 20) 講演要旨作成要領、学会ホームページに掲載される情報なども参考に作成する。
- 21) 本講演要旨の著作権は投稿された時点から(公社)日本地すべり学会に帰属します。なお著者の責任で原稿に著作権上の問題がないことを確認して作成してください。
- 22) 不明点があれば学会事務局へお問い合わせ下さい。